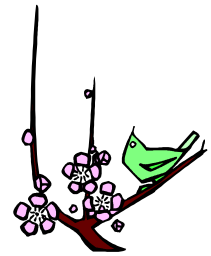


「元輝^{げんき}学舎^{がくしゃ}」せんだ通信

12

児童川柳 「音読は 読めば読むほど 花まるだ」
「まえ向いて 少しずつでも がんばろう」



平成24年2月27日

～校長室だより～

「紙芝居や絵本、とっても楽しかったよ」「セリフがとっても上手で、話がわかりやすかったよ」「読んでくれた本、すぐ貸りるからね」などの声が1年生や2年生の教室から。5・6年生の図書委員会の児童が、1年生や2年生に喜んでもらいたいと苦心して本を選び（『ゆきの日のゆうびやさん』『ル・刈刈のふえふき』『ゆうかなねずみくん』など）、練習を重ねた読み聞かせが。下学年の児童の表情やその時々とうまれる啖きや歓声に心踊らせながら、物語の世界を語る図書委員会の児童に、「うんうん、その調子。1・2年生はとっても喜んでよ。『ありがとうね』」と啖いている私や担任が。地域や保護者の方の読み聞かせの輪が子だちへも広がっています。



～ 保健の学習は、健康づくりへの道しるべ ～

参観日の3年生のある学級では、「けんこうな生活をおくろう 睡眠編」をテーマとした保健の学習が。最初に、生活経験を想起し、睡眠を十分にとったとき、そうでないときの次の日の体のようすを、ワークシートに書き込む子どもたち。短い時間のなか、鉛筆がどんどん進む。「」に書き込まれたものには、「すっきりして、幸せな日に」「姿勢もきれいで、話もしっかりと聞ける日に」「元気！元気！な日に」などが。

一方、「」には、「心も『まだ寝たいよ』と」「心も体もぷんぷん」「頭もぼーっとしたまま」などが。睡眠不足時の不快感を再認識した後、睡眠中に成長ホルモンが活性化していること、よい眠りには睡眠の時間や眠りの深さ



などが大切なことを知った児童は、学習の結びに、ワークシートにこんな決意をまとめていました。「遅くても（午後）9時にはふとんに入り、（午前）7時には、すっきりと起きたい」「毎日、体の成長のためにも早寝早起きをやるぞ！」などが。健康づくりに向け、学んだこと、決めたことを実践してほしいものです。

～ ドキドキわくわくのなか、成長のあかしを形にした「二分の一成人式」 ～

4年生の参観日、「もうだめだ～、緊張する～」。同時に、「大丈夫だよ」と囁く声がある。すると、みるみる力が湧いてきた～の声も。練習を重ねた千田つ子ソーランの披露前の児童の内言が伝わってきます。結果は最高の出来映えで、保護者の方から「力強く、みえない綱がみえるようだったよ」という声と大きな拍手をいただきました。

その後の『メッセージ みんなの想い』では、「ありがとう 産んでくれてありがとう」「お父さんお母さんの家族でよかった ありがとう」「ここまで ぼくたちわたしたちは大きくなりました お父さんお母さんが育ててくれたから 今、こうして自分がいます」「家族の気持ちに伝えられるよう、りっぱな大人になります」など児童が考えた言葉が並び、想いが伝え続く。家族へ、気持ちを込めて真摯に想いを伝える児童の姿に感動し、涙腺が緩む時間が続きました。

その後の『エピローグ』では、心臓がバクバクする（ある児童の言葉）なか、「やさしく心の広い人になりたい」「心が強く人に親切にできる人になりたい」「仲間をまとめていろんなことに挑戦する人になりたい」など、児童一人一人が堂々と、自分の夢や目標を語り繋いでいきました。式終了後の児童の作文には、「10歳という重さと、家族に感謝しなくてはと思いました」「小さなつぼみが、花を咲かせ始めたような気がする」などがまとめられていました。



子どもたちにとって、自分の成長や家族からの愛情を再認識するとともに、家族への感謝の念をもつよい機会となったようです。